



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役社長 野尻公平
(コード番号 7616 東証第一部)
問合せ先 取締役 瀬尾秀和
(TEL 045-274-5970)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月22日に公表致しました「2020年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上収益	事業利益	EBITDA	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	189,206	△5,833	1,983	△5,998	△5,489	△80.06
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	235,334	5,632	14,319	△6,798	△6,447	△88.62

(注1) 事業利益 = 「売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費」により計算しております。

(注2) EBITDA = 「事業利益 + 減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)」により計算しております。

2. 通期連結業績予想修正の理由

2021年3月期の業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であったため、連結業績予想を未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定致しましたので業績予想を公表致します。

当第2四半期連結累計期間におきましては、4月の緊急事態宣言発令を受け店舗の休業及び営業時間の短縮を大量に実施したことや、5月の緊急事態宣言解除後も営業時間の短縮、ソーシャルディスタンス確保のための客席数の削減、グループ利用による会食や宴会の減少、8月のお盆時期の帰省自粛、小中高校の夏休み期間の短縮など様々な負の影響を受けることとなりました。また外出自粛やテレワーク(在宅勤務)の拡大により、消費者のライフスタイルが大きく変化し厳しい状況が続いておりました。

しかしながら10月以降は、政府による各種の「Go To」キャンペーンの効果もあり、売上収益は回復傾向にあるとともに、2020年9月15日付で㈱大戸屋ホールディングスを連結子会社としたことにより、売上収益の増加を見込んでおります。また前期において開示致しました、居酒屋業態を中心とした195店舗の閉店による赤字店舗の削減効果の発現、更に固定費の削減及び限界利益率の引上げにより、損益分岐点が前年に比べ11.2%引下がったことによる収益性の改善などから、当第3四半期連結会計期間以降は業績の回復も見込んでおります。

以上のような施策を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う大幅なマイナスをカバーすることは難しく、通期におきましても各利益段階において損失となる見込みです。

(注)上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上